

サトイモの花多数開花

奥野 宏
川 渕 恵 子

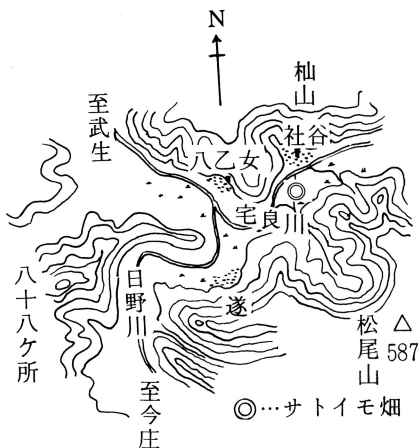
今年（昭和53年）は、各地からサトイモの開花のたよりを聞くが、南条郡今庄町社谷、川渕鶴治氏の畑でも8月中旬から9月上旬にかけて12個の花が開花した。

今年の夏は晴天の日が多く、日照りの多い異常天候で各地で多くの作物が早魃の被害を被った。当地は地図に示すように東西に谷が開け割合広い谷間いの水田の中に設けられた菜園場であり、日照時間の非常に長い地域である。畑にはサトイモ約200株が植付けられていたが、そのうちの12株に開花が見られた。

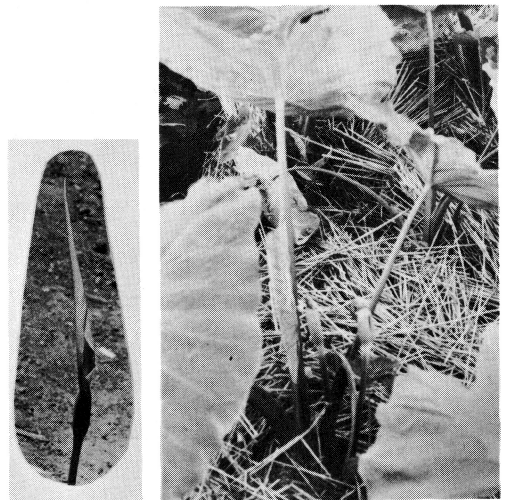
当地は日野川の支流宅良川と松尾山（587m）から流れおるる谷川に左右を挟まれた三角地に位置し、田の左右を走る水路は終日豊富な水を提供している。そのため日当りのよい土地でありながら早魃の影響は全く見られなかった。

以上のような環境条件から、当地のサトイモの多量の開花現象は、例年より日照量が極度に多く、水の供給が充分になされてある程度熱帯アジアの原産地に近い生育条件が整ったためとも考えられる。

（南条郡今庄中学校）



サトイモ菜園場周辺図



左……サトイモの花

右……サトイモの花の終期